

8月20日(土) 第2回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「ひとり親家庭の子ども達の学力向上のために」～子どもたちがたのしく学べる居場所づくり～と題して「サタテイ☆くらぶ」の弘前市母子寡婦福祉会会長の引間由美子さんと、弘前大学 teens&law の山口夏樹さんをゲストにお迎えして、お話ししていただきました。弘前市母子寡婦福祉会(母子会)は、現在約40名ほどの30～50代のひとり親家庭の母と若い寡婦が中心となって運営しています。交流を中心としたイベントや研修(母子・父子福祉制度をよく理解してもらうための学習会など)などを開催しています。同じ立場だからこそ理解し合い、少しでもひとり親家庭や寡婦がよりよく暮らしていけるよう活動している福祉団体です。サタテイ☆クラブは、母子家庭、父子家庭の小中学生を対象として、弘前大学の学生を中心に、毎週土曜日午前ヒロロで学習支援をしているボランティアです。

引間さんは「サタテイ☆くらぶ」は、平成25年に2人でスタートして、今年で3年目になります。1年目は参加者も少なかったが、少しずつ口コミで広がって、現在は8人くらいが参加しています。学校に行けなかった子が、学校に行くようになったり、高校に行かないと話していた子が、高校に行く選択をしたり、親御さんから、うちの子が、サタテイ☆くらぶに行くのが楽しいと話しているなどと聞くと、嬉しいし子どもたちが可愛くて」と話しています。

山口さんは「初めは少し偏見(自分の知らないことだった)を持っていたが、活動に参加しているうちに偏見もなくなり、今は毎回のように参加しています。今後、学生のボランティアをもう少し増やしたいと思っている」などと話した他に題提起もいくつか上げていきます。いつもは、ゲストの方のお話を伺った後で質疑応答になるのですが、今回は、お話の途中で、興味を持っている参加者から何度か質問があったり、ゲストの問題提起に対して、意見交換したり、ワールド・カフェ方式的な展開になって、いつもと少し違う雰囲気になりました。最後に、引間さんから、お話できて良かった。自分も勉強になりましたとお話していただきました。

参加者からは、申し込み不要で気軽に参加できました。深い話をすることができた。参加者が少なく良かった(気兼ねなく、ぶっちゃけ話をすることができた)。などの感想をいただきました。

「ほっと・ぼらんていあ」の次回は、10月15日(土)13:30～15:30まで、弘前市第三地域包括センターの高杉センター長をお招きして、お話ししていただく予定です。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。